

R5年度教育活動アンケート調査の結果について

昨年末にご協力いただきました「教育活動に関するアンケート」の結果が集約できましたので、2回に分けて報告します。アンケートの結果を活かして、次年度の学校教育の改善に役立てていきたいと思っております。

《児童アンケート結果》

設問	そう思う	ややそう思う	肯定的評価	R4比較
① 楽しく学校生活を過ごしている。	71.6%	20.0%	91.6%	-4.3
② 勉強時間に進んで考えたり、話し合ったりすることができた。	39.8%	39.8%	79.6%	-1.5
③ 友だちや先生・地域の人にすすんであいさつをしている。	53.0%	28.9%	81.9%	-3.4
④ マナーやきまりを守り、人にめいわくをかけないようにしている。	49.0%	39.3%	88.3%	-2.9
⑤ 友だちの気持ちを考え、こまっているときには、声をかけたり、何か行動したりしている。	48.6%	39.7%	88.3%	+3.2
⑥ 児童会活動など、さまざまな場で友だちとふれ合うことができている。	74.4%	16.9%	91.3%	-1.6
⑦ 校内で安全に気をつけて生活している。	61.9%	30.1%	92.0%	+1.5
⑧ 自分や友だち身近な生物などの命を大切にしている。	67.1%	26.9%	94.0%	-0.5
⑨ 困ったときに、だれか（家族・友だち・先生など）に相談している。	52.5%	25.6%	78.1%	-1.9
⑩ 地域へ出かけたり、いろいろな人たちと出会う機会が多い。	60.2%	23.1%	83.3%	+13.3
⑪ 家や学校で、すすんで読書をする事ができた。	48.0%	25.1%	73.1%	+1.5
⑫ 家では、すすんで学習することができた（宿題含む）	57.0%	28.1%	85.1%	+3.5
⑬ タブレットを使った学習では、内容がよくわかった。	61.0%	29.3%	90.3%	+1.1

■児童アンケート結果より■

・昨年度との比較では、⑪を除く12項目中6項目について肯定的評価のポイントが上がりました。本年度も「一人残らず輝かせよう」を教職員の合言葉として、クラスの中で取り残されてしまう子がいないよう、1人ひとりに着目した指導を行うよう取組を進めてきていますが、①については約7%（約28人）の児童がいることを重くとらえて、今まで以上に児童1人ひとりの思いを把握し、特に弱い立場にある子どもを見逃さない取組を行ってまいります。また、このことは⑨の結果と大きく関連しているものとも捉えています。

・話し合い活動についての評価が下がっている点については、徐々にコロナ禍前の授業形態に戻していくとともに、教員の授業改善も積極的に行っていく必要があると考えています。

・肯定的評価の一番低い項目が⑪です。今行っている朝読書以外に児童に読書の楽しみを味わわせ、読書が習慣化するための取組を行っていく必要があります。今後ご家庭のご理解とご協力を得ながら、読書の習慣化に取り組んでいきたいと考えています。